

エクセル(5)の目次

グラフの作成(1)

グラフの作成(2)

グラフの作成(3)

グラフの編集(1)

グラフの編集(2)

問題(1)

問題(2)

問題(3)

問題(4)

11 問題(5)

12 発展問題

グラフの作成(1)

グラフ化したいデータの範囲のセルを選択する。

メニューバーの「挿入」「グラフ」とクリックする。

-2 別法： ツールバーの「グラフウィザード」をクリックする（右下図）。

点数	人数
0	7
20	9
40	11
60	30
80	8

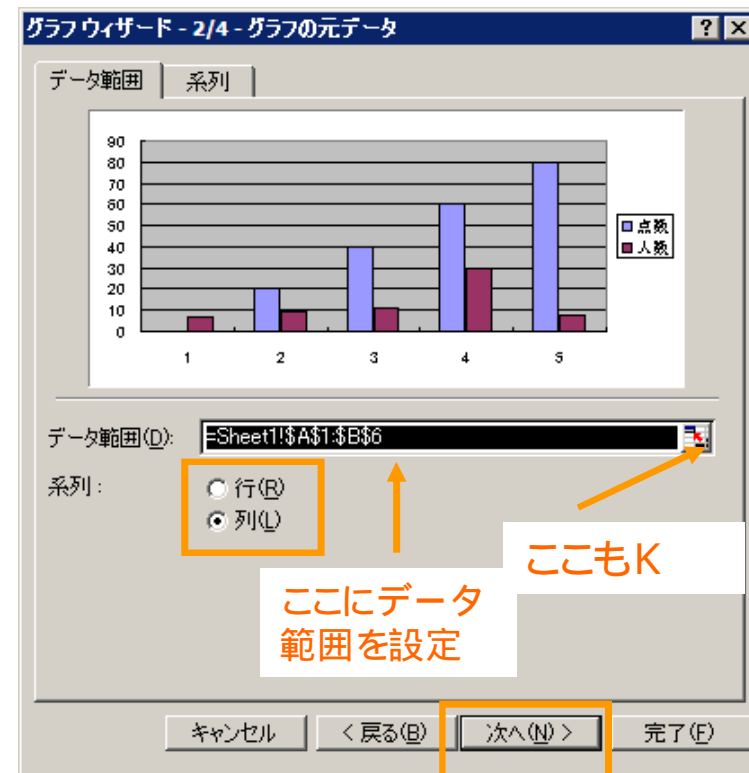


[目次へ](#)

グラフの作成(2)

「グラフの種類」と「形式」を選択し、「次へ」をクリックする。

「データ範囲」と系列が正しいことを確認し、「次へ」をクリックする。



グラフの作成(3)

「グラフオプション」設定画面では、タイトル、X軸、Y軸などの表示や書式を入力する。(グラフ作成後でも、設定ができる。)

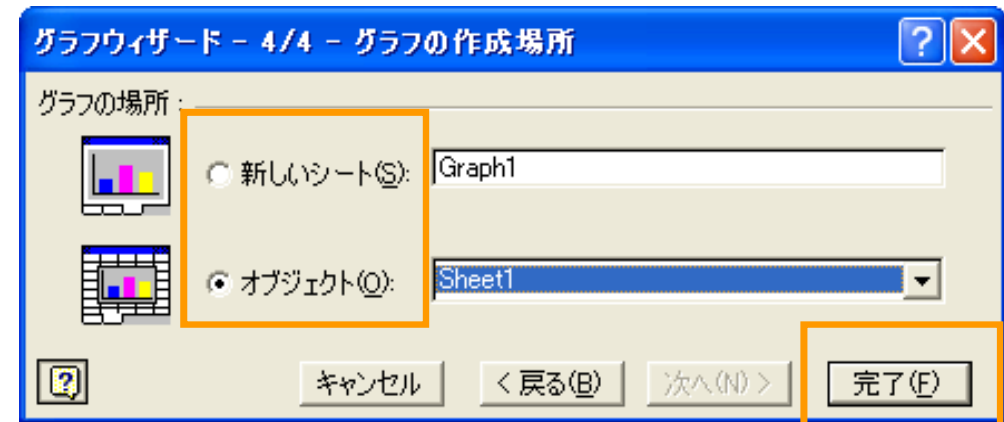
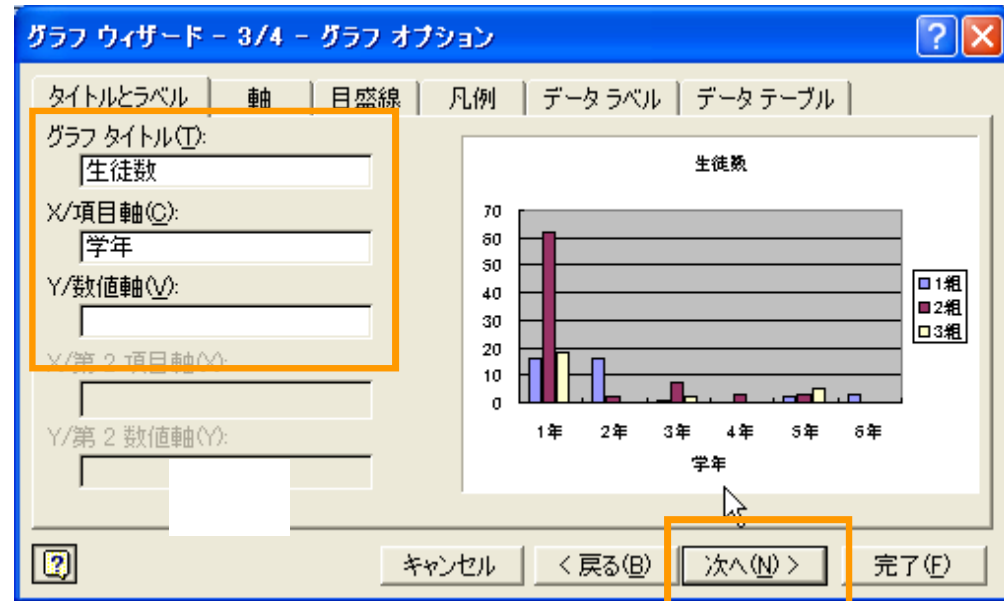
「次へ」をクリックする。

「グラフの作成場所」でグラフの表示場所を指定：

「オブジェクト」
使用中のシート
「新しいシート」
専用のシート

「完了」をクリックする。

[目次へ](#)



複合グラフ

複合グラフ:縦棒や折れ線といった種類の異なるグラフが混在したグラフ

作り方の例

すべてのデータを範囲選択して縦棒グラフを作る。

折れ線にしたい系列をクリックして選択する。

右クリックして「グラフの種類」を選択する。

「折れ線グラフ」と「形式」を選択する。

「OK」をクリックする。

他の組み合わせも同様に操作して作成する。

グラフの編集(1)

グラフエリア：グラフ部分の全域

プロットエリア： グラフが描かれている中央部。

各エリアをクリックすると、角に黒いマーク（ハンドルマーク）が付く。
この状態では、移動、複写、編集、拡大・縮小が可能。

グラフエリアの移動、複写、削除：セルの場合と同じ。

グラフの「削除」は、グラフエリアをクリックした後に、Deleteキーを押す。

編集：編集する場所でダブルクリックまたは右クリックし、サブメニューから、選択する。

グラフの軸（X, Y軸）の設定： 目的の軸をクリック 右クリック サブメニューからの選択。
軸のダブルクリックでもよい。

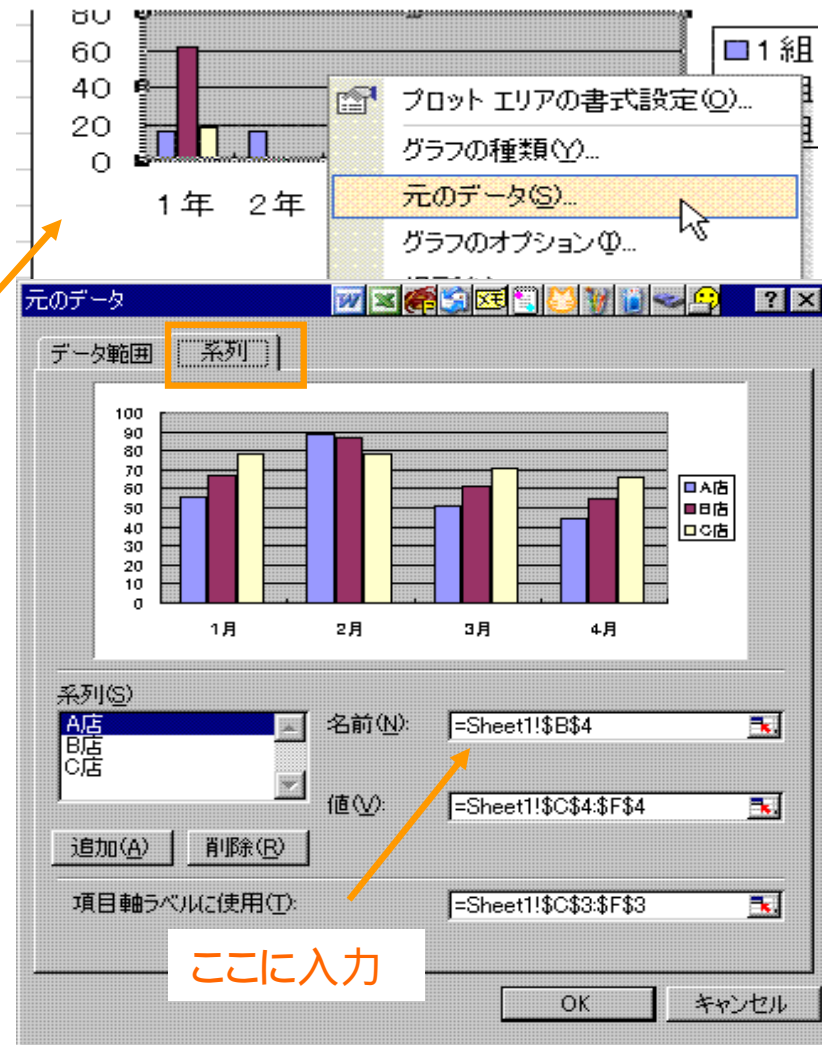
まず、設定を変更したい場所を右クリックするか、ダブルクリックして
みることを推奨。

グラフの編集(2)

グラフタイトルの編集 : グラフ
タイトルをK 文字列の編集部
分でK 訂正・追加。
(「グラフオプション」でも編修可)

凡例の編集
(右図: 変更の1例)
グラフをK 右K 「元の
データ」を選択 「系列」タブ
をK 「系列」欄で訂正する系
列を選択 「名前」欄に凡例名
を入力する。

凡例の削除 : 「削除」ボタンをK。
全て設定したら「OK」をK。

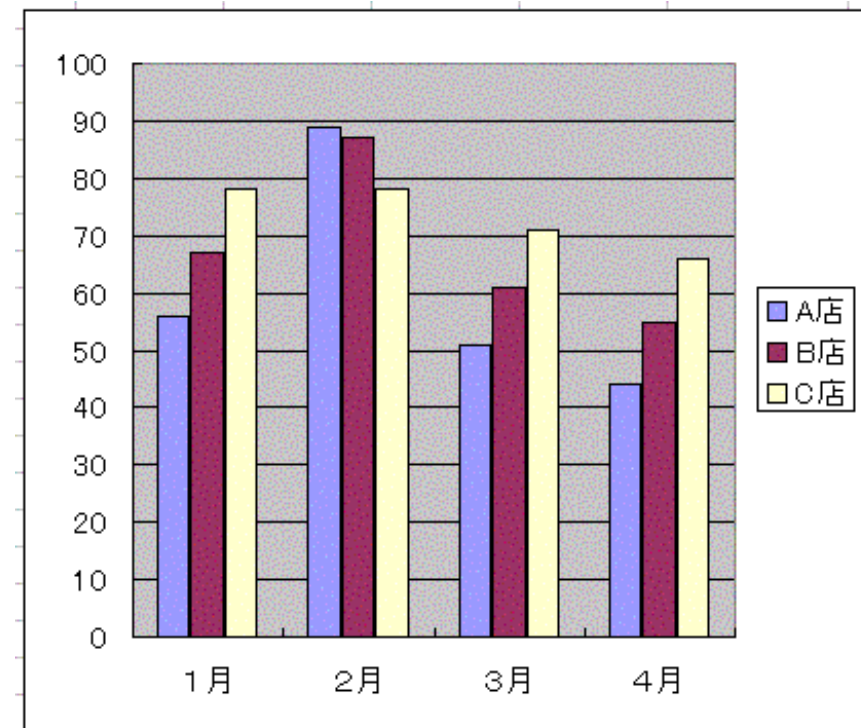


課題(1)

課題 1 下図のような表をエクセルで作成せよ。

	売上高				売上高合計
	1月	2月	3月	4月	
A店	56	89	51	44	240
B店	67	87	61	55	270
C店	78	78	71	66	293

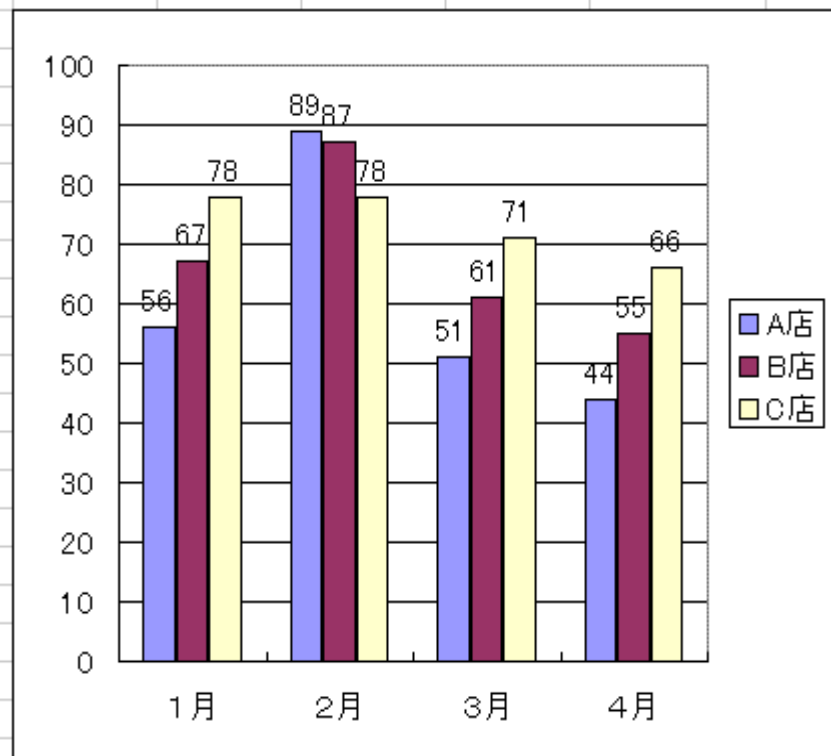
課題 2 課題 1の表から右図のような棒グラフを作成せよ。



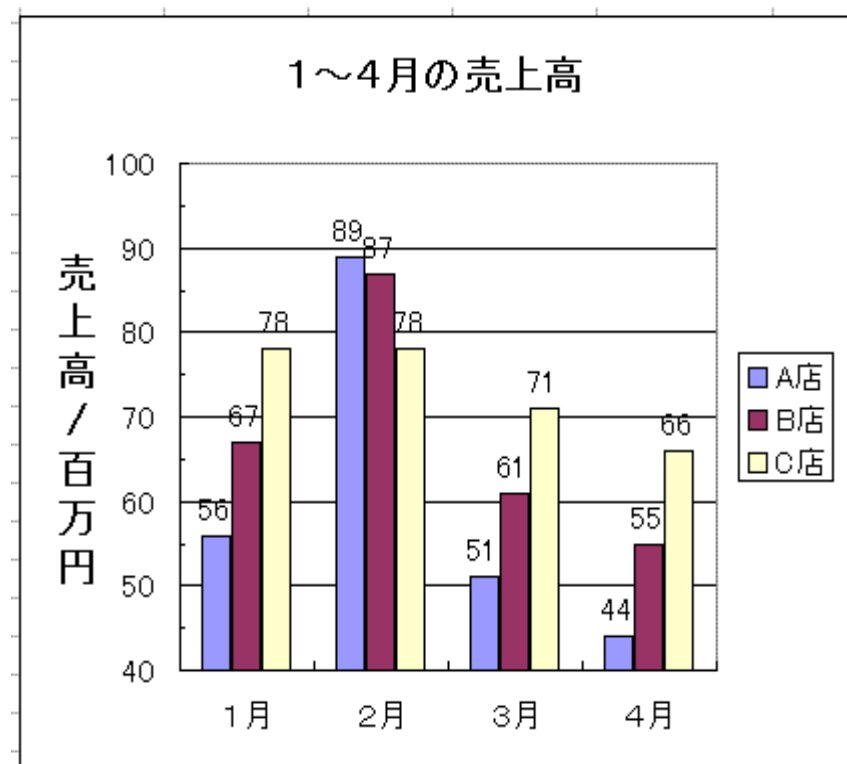
[目次へ](#)

課題(2)

課題 3 課題 1 のグラフをコピーし、
グラフエリアの背景を白にし、
データラベルを付けよ

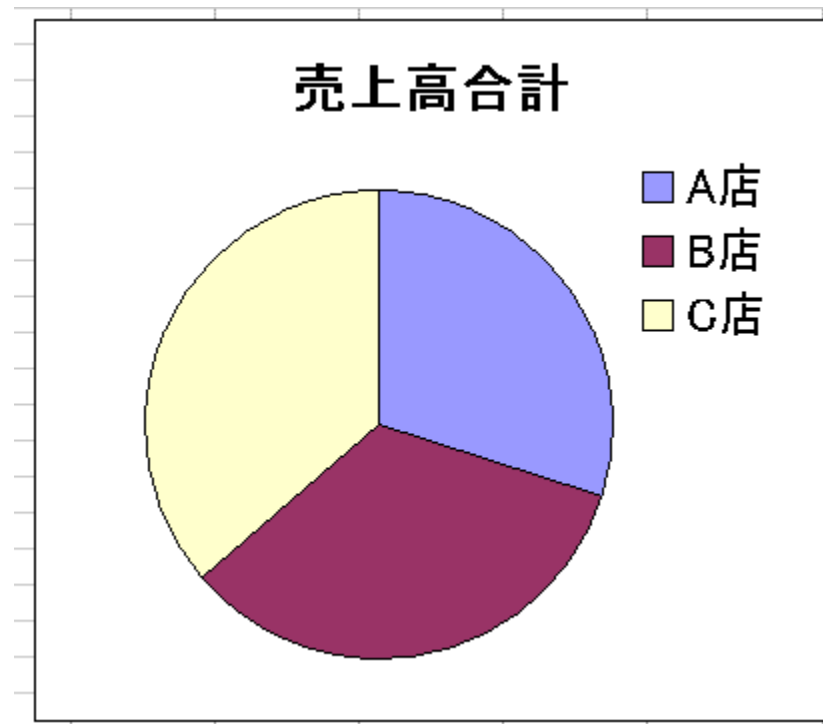


課題 4 課題 3 のグラフをコピーし、
タイトルをつけ、
縦軸の書式を下図のように変更せよ。

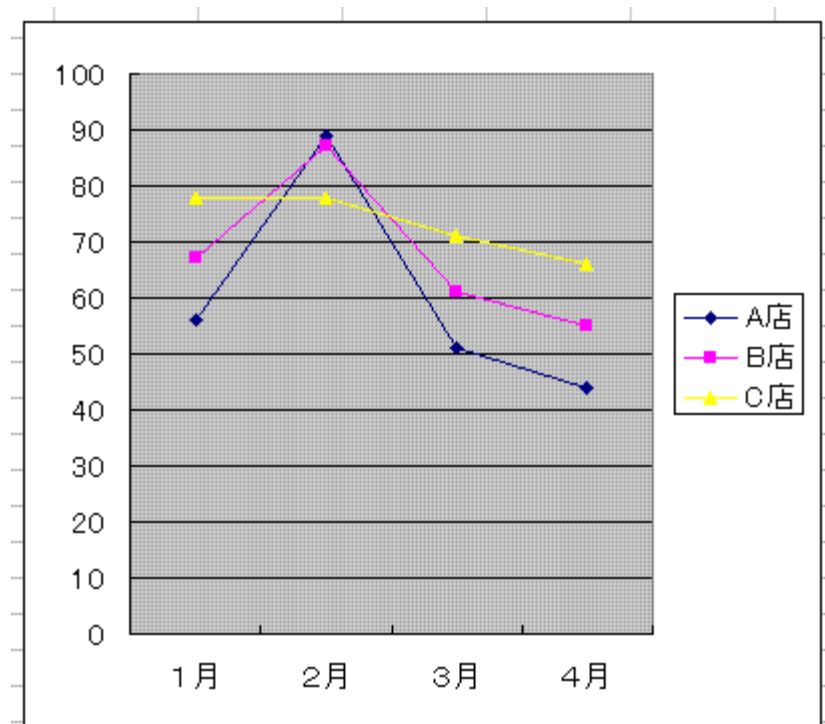


課題(3)

課題 5 課題 1の表の売上高合計から、下図のようなグラフを作成せよ。
(不連続な列の選択法は、エクセル(2)に記載。)

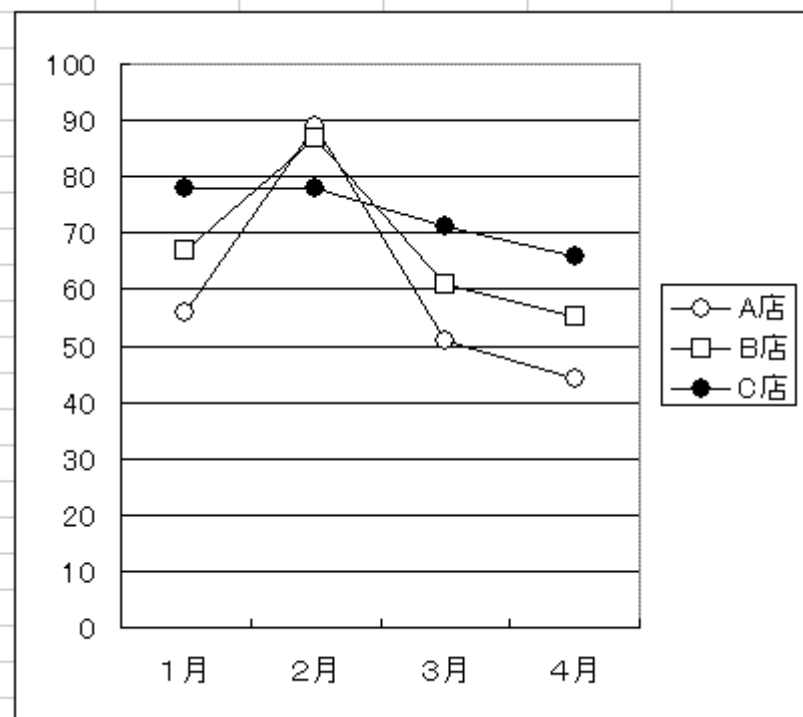


課題 6 課題 1の表から、下図のような折れ線グラフを作成せよ。

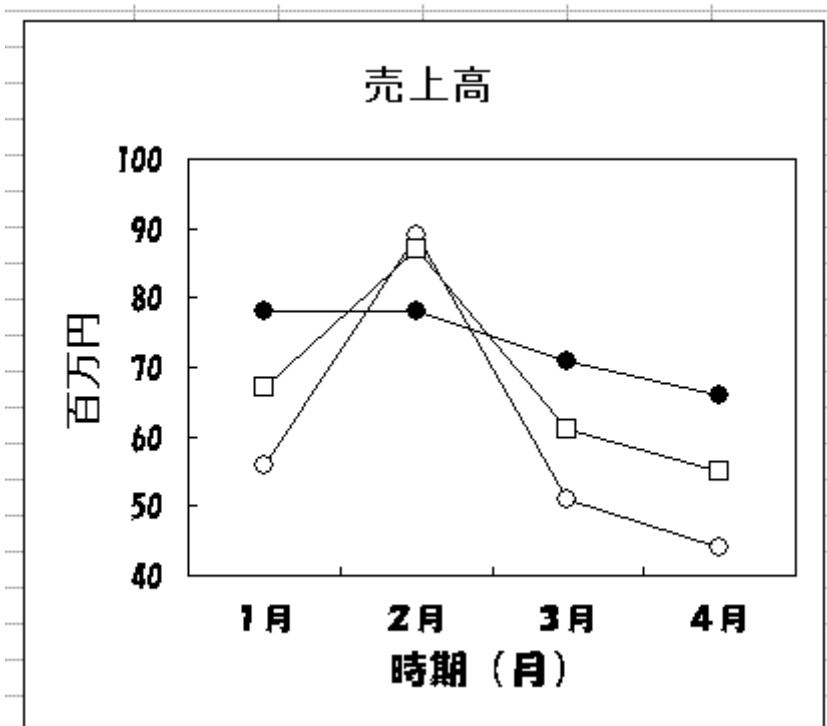


課題(4)

課題7 白黒コピーをすると、色の違いは分かりにくい。課題6のグラフのデータ系列の書式を下図のように変更せよ。(マーカーは「前景」「後景」で設定する。)



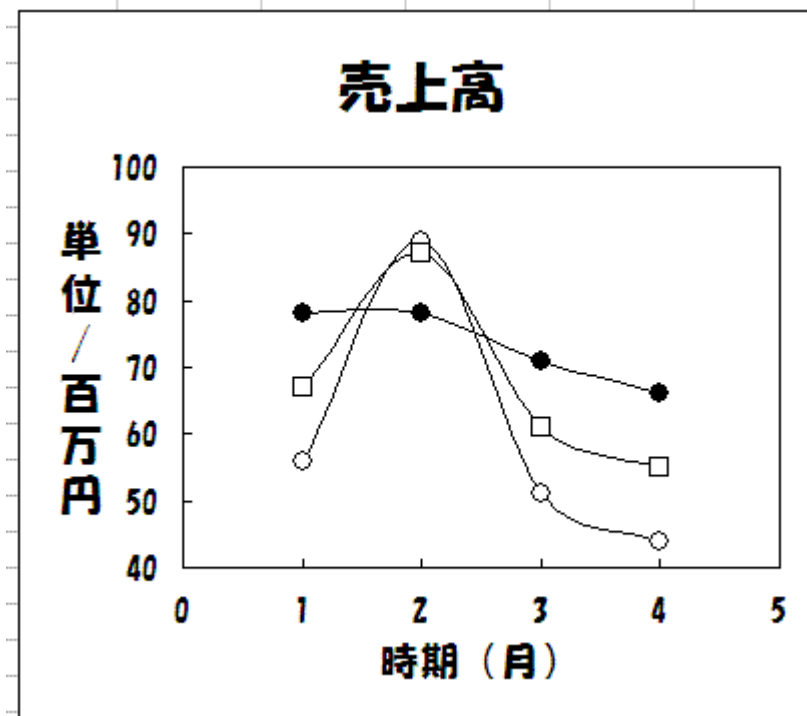
課題8 課題7のグラフをコピーし、タイトルを付け、軸の書式を下図のように変更せよ。



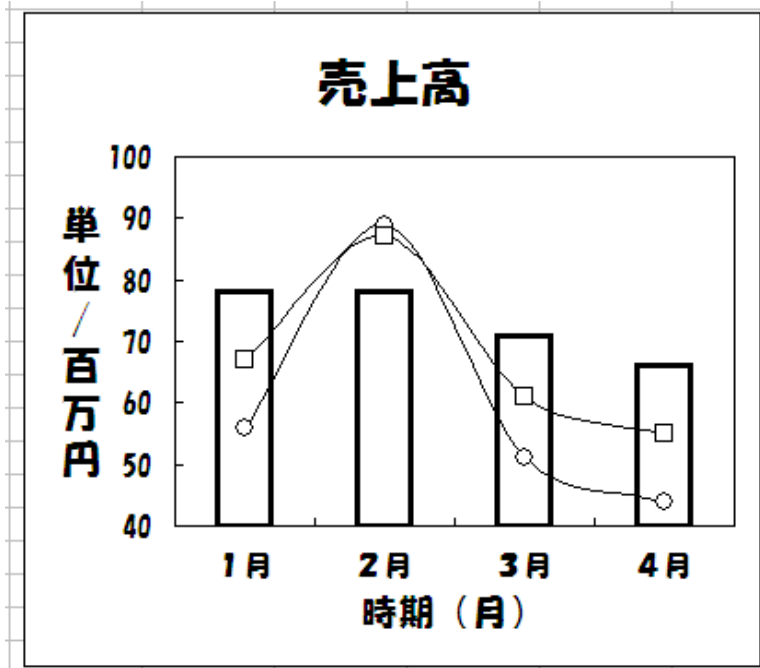
[目次へ](#)

課題(5)

課題9 課題8のグラフをコピーし、それを下図のように変えよ。



課題10 課題9のグラフをコピーし、それを下図のように変えよ。



[目次へ](#)

発展課題

発展問題 データ系列間の数値の差が大きい時に、同じ軸目盛で表示すると、分かりにくい(図1)。そのような場合には、第2軸を設定するとよい(図2)。時間的余裕のある人は、図2のようなグラフの作成を試みてみよ。
(ヒント:どこを(何を)変えたいかを考える。)(テストの範囲外)

月	A	B
1	1	1
2	2	2
3	4	3
4	8	4
5	16	5
6	32	6
7	64	7
8	128	8
9	256	9
10	512	10

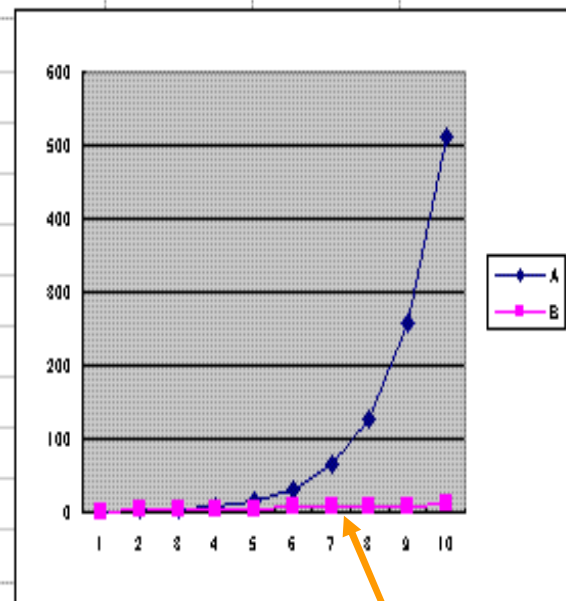


図1

このデータが
分かりにくい

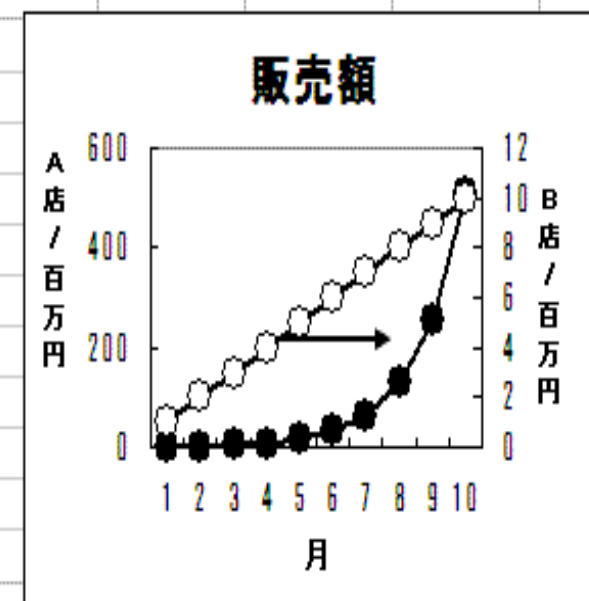
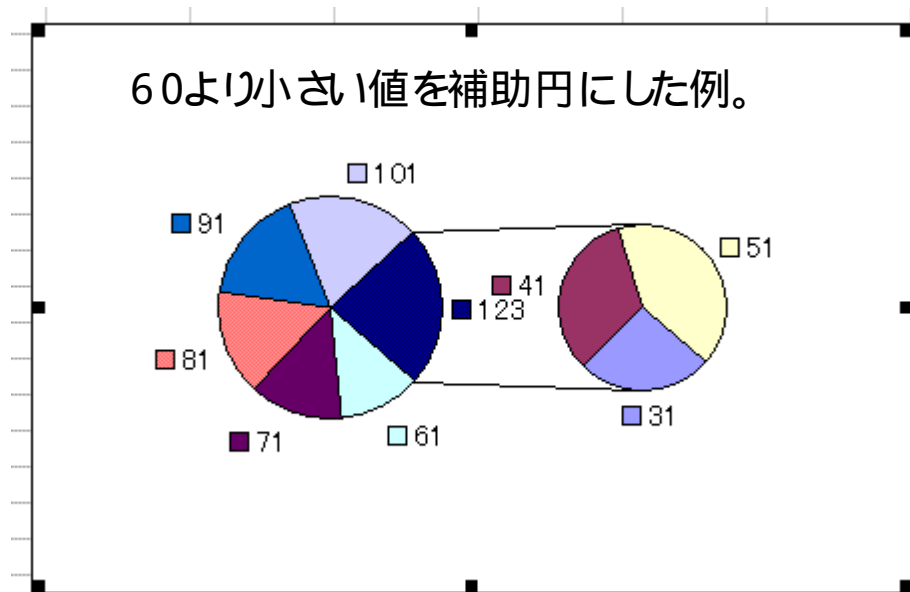


図2

補助付き円グラフ

項目が増えて見にくい場合には、「補助付き円グラフ」を使うとよい。

表を選んで、グラフウィザードから「補助円付き円グラフ」を選ぶ。
「グラフの選択」「グラフの種類」「円グラフ」形式欄で右下のものを選択する。
「分類名」や「値」などを指定する。
グラフ部分を選択し、「データ系列の書式設定」「オプション」タブをクリックし、必要な設定をする。



発展問題 2

左図のようなグラフを作れ。
(数値はオートフィルで入力せよ。)

